

研究授業 I

第1学年算数科「たすのかな ひくのかな」

授業者：松本 都望

【各教科・領域において習得した**知識(内容知・方法知・体験知)**の活用・発揮が促され、互いの探究のプロセスが充実していくイメージ】

算数科「たしざん、ひきざん」

- ・合併場面とも求差場面とも捉えることができる問題について、主体的に演算決定の根拠を説明する。この学習経験が体験知となり、本実践においても演算決定の根拠を説明しようとする**情報収集のプロセスを充実させる。**
- ・加法や減法が用いられる具体的な場面を、+や-の記号を用いた式に表したり、式を具体的な場面に即して読み取ったり、式を読み取って、図や数図ブロックを用いて表したりする。本実践においても、この方法知を活用することが**情報収集のプロセスを充実させる。**

情

算数科

たすのかな ひくのかな

探究力

情

常時活動

- ・給食のおかわり（からあげの残りの数と欲しい人の数）や休憩時間のみんな遊び（ドッチボールの内野の人数の比較）、野菜の栽培（種や芽の数）等をとおして、数に着目した見方を働かせている。本実践においても数の見方を働かせることで**情報収集のプロセスを充実させる。**

情

国語科 「ともだちにきいてみよう」

- ・ともだちに聞いて分かったことを他のともだちに伝える。この学習経験が体験知となり、本実践において、友だちの説明を聞きそれを自分の言葉で説明しなおすことによって、問題場面の理解をより深めるという算数科の**情報収集のプロセスを充実させる。**